



2022年9月 第740号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>
編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

カトリック甲府・塩山教会 主任司祭 芹沢 博仁神父様にインタビューいたしました。

Q 聖書の中で、神父様が好きな箇所は？

A 好きというわけではありませんが、意識している箇所があります。各福音書から一つずつだけあげます。

マタイでは、5:23-24「あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。」

マルコでは、12:43-44 イエスは、弟子たちを呼び寄せて言われた。「はっきり言うておく。この貧しいやもめは、賽銭箱に入れている人の中で、だれよりもたくさん入れた。皆は有り余る中から入れたが、この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである。」

ルカでは、12:54-57 イエスはまた群衆にも言われた。「あなたがたは、雲が西に出るのを見るとすぐに、『にわか雨になる』と言う。実際そのとおりになる。また、南風が吹いているのを見ると、『暑くなる』と言う。事実そうなる。偽善者よ、このように空や地の模様を見分けることは知っているのに、どうして今の時を見分けることを知らないのか。あなたがたは、何が正しいかを、どうして自分で判断しないのか。」

ヨハネでは、20:21-23 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

ある教会で大学生の集まりがありました。教会に一番近くに住んでいる一人が遅れてきました。彼女は選挙の投票に行ってきたのでした。既に集まっていた学生は誰も投票に行っていないのでした。彼らは皆、信者で幼児洗礼です。彼女は信者ではありませんでした。

これは30年前の話でしたが、教会の弱いところがここにあると思います。特に青少年への信仰教育で。一人一人が社会との関わり、責任を神の国を求めるものとして果たしていく。18歳から投票ができるようになりましたが、このことをカトリックの高校でも力を入れてほしいです。
(来月号につづく)





おしらせ



1 ミサの実施変更について

現在、コロナウイルス感染症が全国的に拡大しています。ご承知の通り山梨でも連日1000人以上の感染者を記録し、甲府教会でも複数名の感染者が発生し予断を許さない状況が続いています。そこで教会でも感染の危険を減らすため、週ごとのブロックミサの組み合わせを以下の通り変更することとなりました。

1 週目 西ブロック 2 週目 東・南ブロック 3 週目 峡南・山城ブロック
4 週目 中央・北ブロック

9月 4日(日)	10:30～	講堂	西ブロック
9月11日(日)	10:30～	講堂	東・南ブロック
9月18日(日)	10:30～	講堂	峡南・山城ブロック
9月25日(日)	10:30～	講堂	中央・北ブロック

10月未定

※ミサは、(外国語のミサ含む) 密を避けるためサンタルチア講堂で行います。

定員は60名

また同じ理由から各自ミサに与る回数を原則月一回とすることとなりました。例えば外国籍の方で母国語のミサに与った方は、同じ月の日本語のブロックミサに与ることはできません。ただし、先唱や朗読などミサの奉仕のためにどうしても必要な場合はこの限りではありませんので、各ブロック・グループで調整してください。

清掃は、ブロックミサに参加された方は、サンタルチア講堂・外トイレ・センター・司祭館1Fを、また、外国語ミサに参加された方は聖堂の掃除をお願いいたします。

主日のミサの義務を免除

体調がすぐれない方はミサへの参加をお控えください。またご高齢の方、持病をお持ちの方も無理なさらないでください。同じく、体調不良、またはご高齢や持病をお持ちの方は無理せず ミサの挙行をお控えください。

主日のミサの義務を免除する権限は各司祭に与えられておりますが、改めて教区長として義務からの免除をいたします。

カトリック横浜司教区 司教 梅村 昌弘 (カトリック横浜司教区 HP より抜粋)

2 敬老の集い

9月18日(日)を予定していた敬老の集いですが、コロナ禍の収束が見通せないため、今年の開催は、昨年度に引き続き中止いたします。75歳以上の信徒様には、昨年同様プレゼントを贈呈いたします。9月4日、9月11日、9月18日、9月25日のミサ後に記念写真を撮影しプレゼントをお渡しする予定です。

3 教会委員会

9月11日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂にて教会委員会が行われます。
※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください。

4 典礼委員会

9月は、「新しいミサ式次第」の勉強会は、お休みします。パンフレットを見ながら各自で予習復習をお願いいたします。

横浜教区の方で、新しい「ミサ式文」を使った模擬ミサを、You Tube で配信致します。(9月上旬配信予定) URL は、カトリック横浜教区のウェブサイトに掲載していますのでご覧下さい。尚、会衆向け小冊子は、9月下旬から10月上旬届きます。

5 地域福祉委員会

2022年全てのいのちを守る月間

世界のキリスト教諸教派は、ともに、9月1日からアシジの聖フランシスコの祝日である10月4日までを「被造物の季節」と設定し、ともに暮らす家のために祈り、また守るよう呼びかけています。カトリック教会もこのエキュメニカルな活動に参加するよう教皇庁総合人間開発省が毎年呼びかけを行っており、日本では「すべてのいのちを守るための月間」として取り組みが行われています。今年の被造物の季節のテーマは「被造物の声に耳を傾ける」で、詩編19編2節~5節から取られています。

この期間に合わせて地域福祉委員会は、「すべてのいのちを守る」活動として、次のことを行いたいと思います。

- 小冊子「すべてのいのちを守るために、今 私たちにできること」の希望者への配布
お気軽に皆さんのお知り合いの地域福祉委員にお申出下さい。

6 世界難民移住移動者の日の献金

「世界難民移住移動者の日」は、9月最終日曜日です。1970年、時の教皇パウロ6世が、教皇庁移住・移動者司牧評議会を設立したことを受け、「各小教区とカトリック

施設が、国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々と『共に生きる』決意を新たにす日」として設立されました。

「世界難民移住移動者の日」では、おもに滞日・在日外国人、海外からの移住労働者、定住・条約難民、外国人船員や国際交通機関の乗組員とその家族のために「祈り・司牧的協力・献金」がささげられ、それらは日本カトリック難民移住移動者委員会を通じて、幅広く支援に役立てられています。（現在ブロックでのミサの実施ため、9月4日・11日・18日・25日 献金箱を設置いたします。）

- | | | | |
|----|----------|----------|------------------|
| 7 | きずなの会 | | 休み |
| 8 | 典礼委員会 | 9月17日(土) | 9:00 ~ センターホール |
| 9 | 地域福祉委員会 | 9月18日(日) | 12:00 ~ サントルチア講堂 |
| 10 | 青少年育成委員会 | | 休み |
| 11 | 広報委員会 | 9月25日(日) | 13:00 ~ センターホール |

.....

関係団体などからのお知らせ

NPO法人こどもサポートやまなし

①運営委員会

9月20日(火)、18時30分よりサントルチア講堂で開催します。

②学習会

今月の学習会は、9月11日(日)、9月25日(日)の13時30分より山梨カトリック福祉センターで行います。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更する場合には、個別にご連絡いたします。

③夏休みの相談の受付

夏休み期間(7月20日~9月20日)中、こどもやそのご家庭に関する諸問題(不登校、いじめ、生活困窮、虐待、住宅等)について相談を受け付けております。お気軽にご相談下さい。

詳細は、事務局(木村 090-8031-9608)迄お問合せ下さい。

司祭養成を支援する

一粒会

一粒会会員の祈り

《司祭の召命を求める祈り》

神である父よ、教会に聖霊のいぶきを注いでください。
あなたの愛の招きにこたえて、神とひとびとに使える
司祭を

わたしたちのうちから召し出してください。

主、キリストによって。アーメン。

《呼禱》

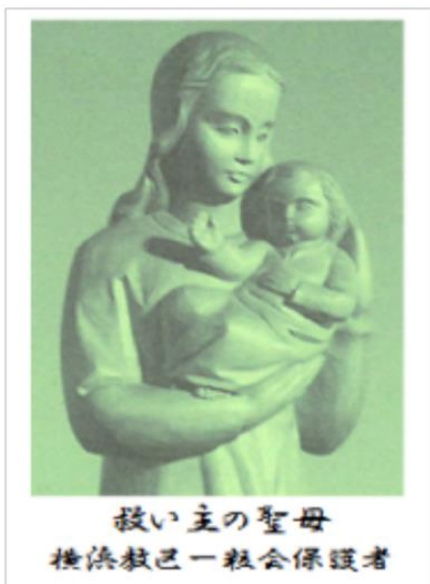
使徒の元后、われらのために祈りたまえ。

日本の聖なる殉教者、われらのために祈りたまえ。

横浜教区一粒会は、会員の精神的ならびに物質的一粒を結集して、横浜教区関係の司祭の召命とその成聖に寄与することを目的としています。

横浜教区一粒会のあゆみ

横浜教区一粒会は、1942年、第二任教区長・井手口三代市師の時代に正式に発足しました。設立当時、一粒会に加入したのは19小教区でした。第二次世界大戦中、また戦後すぐには、一粒会の活動が大きく発展することはありませんでしたが、1952年2月、第6任教区長として着座した荒井勝三郎司教は、一粒会を積極的に推進するように関係者に要請し、1956年には、その活動は28小教区にまで広がりました。また、荒井司教は、以前から提唱していた小神学校設立構想を発表し、併せて、一粒会にその協力を要請しました。その際、司教のもとに、司教総代理ほか数名の司祭、数名の信徒で構成される一粒会本部委員会が設立され、また、地区長ほか数名の信徒による地区委員会、主任司祭と数名の信徒による小教区委員会も設けられました。1962年の小神学校の建物が完成してからも、一粒会は本部委員会を中心とした全教区におよぶ組織を継承し、設立の目的を果たすために活動を続け、現在に至っています。



一粒会の主な活動

- 1) 司祭の召命とその成聖のために祈りを捧げること。
- 2) 神学生の養成等、本会の目的を達成するために献金をすること。
- 3) 司祭召命の運動、一粒会大会等の開催。
- 4) 一粒会だより、一粒会通信、沿革誌等の刊行。

※山梨地区一粒会では、一粒会会員を募集しています。詳しくは小教区担当一粒会委員までお尋ねください。





主日ミサ 該当ブロック表



日	時間	場所	該当ブロック
9月 4日(日)	10:30~	講堂	西ブロック
9月11日(日)	10:30~	講堂	東・南ブロック
9月18日(日)	10:30~	講堂	峡南・山城ブロック
9月25日(日)	10:30~	講堂	中央・北ブロック

※9月のミサは、(外国語のミサ含む) 密を避けるためサンタルチア講堂で行います。



今月の教会カレンダー (典礼暦・外国語ミサ・行事等)



9月 2日(金) 初金ミサ	9:30 ~ ミサ
4日(日) 年間第23主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック) 14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
11日(日) 年間第24主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック) 11:30 ~ 教会委員会 15:00 ~ ポルトガル語 (Português)
18日(日) 年間第25主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック) 12:30 ~ 韓国語ミサ (한글)
25日(日) 年間第26主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック) 14:00 ~ 英語ミサ (English)

.....

10月 2日(日) 年間第27主日	10:30 ~ 集会祭儀 (該当ブロック) 14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
7日(金) 初金ミサ	なし